

## 日本天文学会 1991 年秋季年会記事

1991 年秋季年会は 10 月 15 日 (火)~18 日 (金) の 4 日間、水戸市民会館で A B 2 会場を併用して開催した。口頭発表による講演数は、A 会場: 147, B 会場: 143 の合計 290 であった。なお座長は次の方々にお願いした。

	A 会場	B 会場
15 日 午後	長谷川哲夫 長谷川哲夫	斉藤 衛 岡村 定矩
16 日 午前	鶴山 正見	石塚 俊久
午後	宮本 重徳 舞原 俊憲	稲垣 省五 富田 憲二
17 日 午前	海部 宣男	長瀬 文昭
午後	笹尾 哲夫 石黒 正人	竹内 峯 横沢 正芳
18 日 午前	平山 淳	田中 靖夫
午後	黒河 宏企 桜井 隆	向井 正 石田 憲一

ポスターによる発表は、Post-deadline papers 3 件を含めた 26 件で、17 日午後 3 時 30 分から約 30 分間ディスカッションの時間帯を設けた。この中で、今年 7 月 11 日の皆既日食および 8 月 30 日に打上げられた「ようこう」の X 線望遠鏡による太陽像のビデオが衆目を集めた。

### ◎記者会見

秋季年会初日の午前 10 時から、年会々場会議室 (101 号) で記者会見を行い、主に次の 4 点について解説をした。

司会・進行役として、理事長・庶務理事が出席した。

- (1) 「ぎんが」による X 線天文学 …… 嶺重 慎
- (2) 「陽光 (SOLAR-A)」による太陽観測 …… 内田 豊, 山口朝三
- (3) 「すばる (8 m 望遠鏡)」計画と赤外線カメラの開発 …… 上野宗孝
- (4) 公開講演「大気圏から見た宇宙観測」 …… 田中靖郎

数日前に嶺重理事から記者会見内容についての解説があったためか、当日の出席報道機関は 1~2 社であった。

また会期中に、内地留学奨学金選考委員会、評議員会、理事会が行われ、その他に 16 の研究集会があったがその中では、中・高教諭を主体とした「天文教育セッション」が異色であった。

賛助会員のための展示コーナーには、(株) ニュートリノ、浜松ホトニクス (株)、(株) エイ・イー・エスの 3 社が参加した。

懇親会は、第 3 日目 (10 月 17 日 (木)) 午後 6 時~7 時 30 分に、三の丸ホテルで開催された。折悪しく大雨に遭遇し、急ぎょ三の丸ホテルから傘を借りるなどのことがあったが、参加者は 200 名を超える盛況であった。

会場も比較的広く、浜田茨城大学長を始め、茨城県庁、水戸市、常陽藝文センターから代表の方が来賓として出席され、短時間ながらスマートな懇親会であった。

### ◎公開講演会

年会初日の 10 月 15 日午後 5 時から、日本天文学会主催で公開講演会が開かれた。この催しは、水戸市教育委員会、茨城県教育委員会、常陽藝文センターの後援によるもので、会場も常陽藝文センターをお借りした。

講演会には、小学生から年配までの幅広い市民の方々 300 名が集まり、難しいテーマを解り易く説明された牧島先生の話は大変好評であった。

「大気圏外から見た宇宙観測」——パルサー、ブラックホール、クェーサー——東京大学理学部助教授 牧島一夫 いくつもの特異な天体の様子が判明するに依り、微妙な条件がうまく重なって出来た地球—我々の生命体—がいかに恵まれた中にいるかを思い、「天文関係者は、地球の環境を守る努力をしよう」と訴える牧島先生が印象的であった。

置開発を積極的に進め切り開いてゆくスタッフを求めます。

着任時期: 決定後なるべく早い時期

勤務地: 当面三鷹 (近い将来ハワイ勤務もあり得る)

応募資格: 大学院修士課程終了またはそれと同等以上

提出書類: (1) 略歴, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト及び主要論文の別刷, (4) 着任後希望する研究計画, (5) 本人について参考意見を述べることのできる人 2 名の氏名・連絡先。

公募締切: 平成 4 年 1 月 18 日 (土) 必着

### お知らせ

#### 国立天文台光学赤外線天文学研究系教官公募

公募人員: 助教授または助手 1 名

公募分野: 大型光学赤外線望遠鏡 (すばる) 計画に関連した開発・研究

光学赤外線天文学研究系では、すばる望遠鏡の建設が進みはじめ、すぐれた装置と観測システムの実現に向けて多様な開発研究を進めていこうとしています。天文学の広い視野と見通しに立ってすばる望遠鏡の装

問い合わせ先: 国立天文台光学赤外線天文学研究系  
海部宣男  
(Tel: 0422-41-3610, Fax: 0422-41-3608)

応募書類送付先: 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台 台長 古在由秀

注 意: 応募書類封筒の表に「光学赤外線天文学研究系教官応募書類在中」と朱記して、簡易書留にてお送りください。  
なお選考は、国立天文台運営協議委員会において行ないます。

#### 国立天文台電波天文学分野教官公募

公募人員: 助手 1名

専門分野: 電波天文学

野辺山では45m望遠鏡、ミリ波干渉計などの観測装置による研究・装置開発や将来計画を進めつつあり、共同利用も含めこれらを積極的に担う人を希望します。

着任時期: 決定後なるべく早い時期

所 属: 国立天文台・野辺山

応募資格: 大学院修士課程終了またはそれと同等以上

提出書類: (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 論文リスト及び主要論文の別刷(共著の場合はその役割分担), (4) 自薦の場合は研究計画と本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (5) 他薦の場合は推薦書(必要に応じ, 被推薦者に資料を請求することがあります)。

提出先: 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 台長 古在由秀  
(封筒に「電波天文学応募書類」と朱記し, 簡易書留でお送り下さい)

公募締切: 1992年1月18日(土) 必着

問合せ先: 〒384-13 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台・野辺山 石黒正人  
(TEL: 0267-63-4396)

その他: 選考は、国立天文台運営協議委員会において行ないます。

#### 宇宙科学研究所教官公募

この度、下記の要領により、教官公募を行いますので、広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. (公募人員) 助教授 1名
2. (所属部門) 共通基礎研究系, 宇宙空間原子物理学部門
3. (専門分野) 当研究所では、宇宙圏研究系(X線, 赤外線), 太陽系プラズマ研究系, 惑星研究系があり、宇宙科学における実験

的・観測的研究が行われています。これらの研究に関連した宇宙空間物理現象を、理論的に解明する研究を行う方で、大学共同利用機関である本研究所の職務を理解し、共同利用諸計画の遂行に積極的な役割を果たしていただけることを希望します。なお、当該部門には現在、市川行和教授、崎本一博、市村 淳助手により原子分子過程の理論的研究が行われています。

4. (着任時期) 決定後、できるだけ早い着任を希望します。
5. (提出書類) (1) 略歴 (2) 研究歴 (3) 論文リスト及び主要論文別刷 (4) 研究計画書(自薦の場合のみ) (5) 他薦の場合: 推薦書2通。自薦の場合: 本人について意見を述べられる人2名の氏名, 連絡先。
6. (公募締切) 平成4年1月16日(木)
7. (宛 先) 1. 宇宙科学研究所 所長 西村 純  
〒229 神奈川県相模原市由野台  
3-1-1  
電話(代表) 0427-51-3911  
2. 問い合わせ、及び資料の請求については下記に願います。  
共通基礎研究系主幹 奥田治之  
内線 2601
8. (その他) 選考は、宇宙科学研究所運営協議委員会において行ないます。応募者に適任者がいない場合、決定を保留することがあります。封筒の表に「助教応募(推薦)書類在中」と朱で明記して下さい。

#### 名古屋大学大学院理学研究科宇宙物理学専攻教官公募

1. 公募人員 教授 1名
2. 専門分野 光学天文学  
光, 近赤外領域での地上望遠鏡による観測グループのリーダーとして研究室の創設にあたっていただける方。
- 3.1 着任時期 決定後なるべく早い時期。
- 3.2 任 期 10年±2年
4. 提出書類 履歴書 1通  
自薦の場合: 研究歴, 着任後の研究にたいする抱負, 論文リスト, 主要論文別刷 各2部  
本人について意見を求めうる人2名  
他薦の場合: 推薦者

5. 公募締切 平成4年1月末日
6. 宛先 〒464-01 名古屋市中千種区不老町  
名古屋大学理学部  
宇宙物理学専攻 主任 黒田義浩
7. 公募に関する問い合わせ先 同上  
宇宙物理学研究室(U研) 松本敏雄  
TEL: 052-781-5111 内線 2452
8. その他
  - 封筒に“光学天文学”応募書類在中と朱書の上, 書留とすること.
  - 適任者がいない場合決定を保留することがあります.

6. 修士課程修了以上の方(30歳以下が望ましい).
7. 提出書類: (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 業績リストと主要論文別刷, (4) 推薦書または意見書1通(健康に関する所見を含む).
8. 公募締切: 1992年1月18日(土) 必着.
9. 宛先, 連絡・問い合わせ先:  
〒351-01 埼玉県和光市広沢 2-1  
理化学研究所 宇宙放射線研究室主任 松岡 勝  
電話 0484-62-1111 内線 3221
10. その他: 「応募書類在中」と朱書し, 書留で送付のこと.

**理化学研究所研究員公募**

1. 公募人員: 研究員または研究員補 1名
2. 所属部門: 宇宙放射線研究室
3. 専門分野: 宇宙放射線(主としてX線・ $\gamma$ 線)観測装置に関する技術開発とX線・ $\gamma$ 線観測衛星(国際共同研究を含む)に参画して高エネルギー宇宙物理学の研究を行なう.
4. 待遇: 理化学研究所給与規定による(詳しくは理研人事課または下記9にお問い合わせ下さい).
5. (1) 着任時期: 1992年4月以降, (2) 任期: なし

**訃報**

本会特別会員の長谷川博一氏には、かねて病氣療養中のところ、去る10月30日午前2時40分に北野病院(大阪市北区)において、肝不全のため逝去されました。享年65歳。

謹んでご冥福をお祈りするとともに会員諸氏にお知らせ致します。

**天体観測専門誌**



特大1月号 予定価620円 12月5日発売

カラー版

**冬の星空星座ガイドマップ**

増頁とした、冬の星座ガイドマップでどの星座にどんな星雲や星団など、見ものがあるのを示します。冬の夜空へ誘います。

1992年の天文現象

1992年流星観測予定表

カノープスの北限にせまる

NEW FACE TEST REPORT  
初めて小型のドームの使い具合

●望遠鏡発達史 ●星雲の造形 ●入門天体望遠鏡光学

■1月の星空 ■1月の天文現象観測資料 ■観測ガイド(流星ガイド・彗星ガイド・惑星ガイド・惑星の衛星ガイド・小惑星ガイド・星食ガイド・小惑星の食ガイド・接食ガイド・人工天体ガイドほか)

**星空ガイド1992**

藤井旭 企画/構成 定価850円 発売中

1992年中に起こる楽しい天文現象を1ヵ月あたり4頁にまとめたカレンダー式の天文観測のガイド帖です。

**天文年鑑1992年版**

天文年鑑編集委員会編 定価680円 発売中

1992年1月から12月にかけての、天文現象の詳しいデータ集です。土星や木星など惑星の見やすい時期は等。

**万能星座早見1992, 1993年版**

藤井旭 企画/構成 予定価970円 12月下旬発売予定

世界各地で使用できる、切ぬき式星座早見です。国内でも使用でき、'92・'93年のデータも満載しました。

**天体の軌道計算[Orbit Work]**

中野圭一著 予定価2800円 12月下旬発売予定

軌道計算の理論から実際まで、彗星の軌道決定, 位置推算, 軌道改良のプログラムが付いています。

**誠文堂新光社**

受注センター(練馬支社) 東京都練馬区豊玉上2-6 電話(03)5999-5121 FAX(03)5999-5120  
本社 東京都中野区弥生町1-13-7 電話(03)3373-7171 FAX(03)3373-7100